

使用説明書 (手袋付き)

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

- ヘアカラーやヘアマニキュアなどで染めた髪を、その色より明るく染めかえることは困難です。

使用方法、その他について
ご質問がありましたら、
お客様相談室まで、
お問い合わせください。

お客様相談室

☎03-5783-4271

受付:土・日・祝日を除く
10:00～12:00/13:00～17:00

ヘンケルジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔より直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

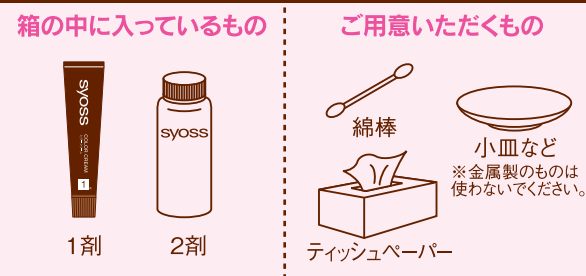
- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5. 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

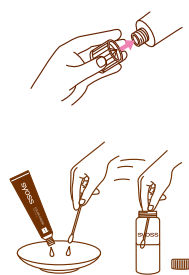
皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの



1. テスト液をつくります。

テスト液は1剤と2剤を1:2の割合で混ぜてつくります。

- (1) 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量を小皿に出します。
- (2) 2剤のキャップをはずし、綿棒を使って小皿の上に1剤の2倍量の2剤をとり出します。
- (3) 新しい綿棒で充分に混合し、テスト液をつくります。



2. テスト液ができたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。30分位放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。



染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

3. そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。

テスト液を塗ったところは、絆創膏等で覆わないでください。

4. テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水泡、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として染毛しないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

5. 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

ご使用前の準備

必要なものの準備



ご用意いただくもの



髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラースプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。
- 非酸化染毛剤(マロン マインドカラーなど)で染めた髪には使用しないでください。

身じたく

※薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。

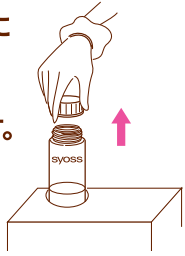
- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- 生えざわや耳や首に混合液がついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきますと、ついても落としやすく便利です。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。
- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくと操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



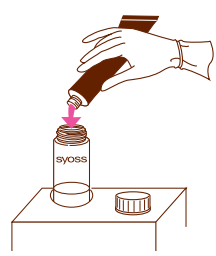
準備ができたら裏面へ▶

1 使用直前に混合液をつくります。

① 箱の裏側のミシン目にそって穴をあけ、2剤容器を固定し、平キャップをあけます。



② 2剤に1剤を全量入れます。



③ 平キャップをしっかりとしめ、上下に強く30回ほど強く振り、充分混合します。



※混合液の色は徐々に変わります。また、仕上がりの髪の色とは異なります。

④ すぐに平キャップをはずし、くし型ノズルにつけかえます。



⚠ 混合した後のご注意

※ 混合液を密栓したまま放置しないでください。ガスが発生し容器が破裂するおそれがあります。
※ 混合液ができたらすぐに髪に塗りはじめてください。そのまま放置しておくと、ガスが発生し容器からあふれ出るおそれがあります。

2 混合液を髪に塗ります。



塗布する順番

- ① 顔のまわり
- ↓
- ② 分け目
- ↓
- ③ サイド
- ↓
- ④ 耳のうしろ
- ↓
- ⑤ 後頭部

- 目のあらいクシで髪をよくとかしてほつれのをぞき、クシ通りをよくしておきます。
- 乾いた髪にご使用ください。

⚠ 染める時のご注意

- ※ 混合液が顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーなどで拭きとってください。時間がたつほど、とれにくくなります。
- ※ 金属製のヘアピンやクシなどは、熱をもち髪を傷めることがありますので、使用しないでください。
- ※ 混合液が目に入らないよう、特に注意してください。
- ※ 使い残した混合液は再使用できませんので、必ず捨ててください。

初めての方・髪全体を染める場合

合計 30 分ほど

1 髪に塗ります。

左の「塗布する順番」を参考に、髪をとかす要領で、髪の根元 → 中間 → 毛先順で混合液を髪全体に手でなじませます。



2 髪全体になじませます。

目のあらいクシで均一になるように髪全体にのばします。



3 20分間放置します。



くし型ノズルワンポイントテクニック

One Point

髪をとかす要領で!

クシの先が髪の中に隠れるように、頭皮に沿ってとかすと、きれいに塗れます。



液だまりの作用で、髪の根元にたっぷりと液がつき、しっかり染まります。

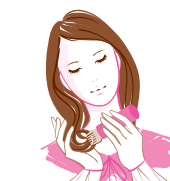
後頭部を塗る場合

後頭部からえり足にむかって（上から下へ）髪をとかすように混合液をつけます。その後、混合液をなじませるように、もみ込みながらつけると、きれいに塗れます。



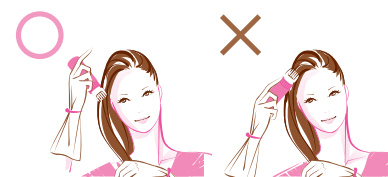
毛の長い方で毛先を塗る場合

くし型ノズルに手を添えて混合液をだし、もみ込みながらつけると、きれいに塗れます。



側頭部を塗る場合

ノズルは下向きに使用すると、簡単に塗布できます。



生えざわを塗る場合

生えざわを塗布する時は、少しずつ液を出してください。出しすぎるとタレ落ちや飛び散り液が目に入ると危険です。

※ 髪の流れに逆らってとかすと、混合液が飛び散る場合があります。

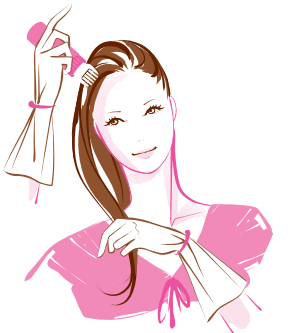
新しくのびてきた部分を染める場合

合計 30 分ほど

1 髪に塗ります。

左の「塗布する順番」を参考に、混合液を新しくのびてきた髪の根元に塗ります。

※ このとき、全体につけると、毛先の部分と根元が均一に染まらないことがあります。毛先の部分にはつけないようにしてください。



5分

2 10分間放置します。



10分

3 髪全体になじませ、15分間放置します。

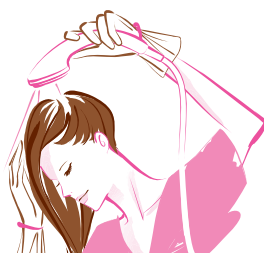
新しくのびてきた部分につけた混合液を、目のあらいクシで毛先に向かってのばし、なじませ放置します。



15分

3 洗い流し、よく乾かします。

放置時間がすぎたら、ぬるま湯で十分にすすぎ、シャンプーをした後、アフターカラーヘアパックなどで仕上げます。汚れてもかまわないタオルでふいてください。



⚠ 洗髪・乾かす時のご注意

- ※ 洗髪時の洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
- ※ 目に入ったときは、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科医の診療を受けてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。
- ※ 髪は十分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。

⚠ 使用後のご注意

- ※ 再度ブリーチやヘアカラー（ヘアマニキュアを除く）を使用される場合は、髪や地肌への負担を考慮し1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。
- ※ 次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
 - ・髪がぬれているとき。（運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。）
 - ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。